系譜プロジェクト

仏教宗派系譜図

古代インドの僧団から現代の仏教運動まで、107の伝統と共同体をたどる。

パネル索引

- A 初期の諸派
- B 上座仏教
- D 大乗仏教
- C 金剛乗
- E 浄土教
- F 禅
- G 朝鮮半島・日本



伝統別の信者数

人型1体は1,000万人を表す。

世界の推計・2010年

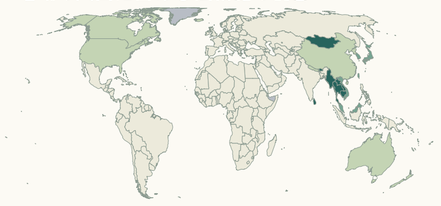
大乗仏教		2億6,300万人
上座仏教		1億7,700万人
チベット仏教		2,800万人

2010年の推計では、チベット仏教を大乗仏教とは別に集計している。

Johnson & Grim, The World's Religions in Figures（2013年）、36頁、表1.33。

世界の仏教徒の分布

各国・地域の人口に占める仏教徒の割合



- 1%未満
- 1〜10%未満
- 10〜50%未満
- 50%以上
- 推計なし

ピュー・リサーチ・センター（2025年）、付録B　・　境界データ：Natural Earth

系譜に登場する4地点

人口に占める割合・2020年



1. **ブッダガヤ** 大菩提寺
2. **アヌラーダプラ** 大寺（マハーヴィハーラ）
3. **ラサ** デプン寺
4. **比叡山** 延暦寺

項目の色分け　仏教の大系　インド初期の諸派・上座仏教　インド大乗・中国・ベトナム　朝鮮半島　日本　ヒマラヤ・モンゴル　復興運動・国際組織

A 初期の僧団とインドの仏教復興

仏教
紀元前5世紀頃・釈尊の教化
南アジアで説かれた釈尊の教えを受け継ぐ諸伝統。
続き D

インド初期の僧団
紀元前300年頃・伝承上の根本分裂
各僧団は、それぞれの戒律と起源に関する伝承を継承した。
… 初期の諸僧団は異なる律蔵を編纂した。

上座部
紀元前300年頃・伝承上の分裂
初期教団の分裂時に一方をなしたのが上座部と伝えられる。
… 伝承は、上座部と大衆部を分けて記す。
続き B

説一切有部
1世紀初頭・マトゥラーの碑銘
過去・現在・未来の三世にわたり、諸法が実在すると説いた。
— 伝統的な部派系譜では、上座部の系統とされる。

根本説一切有部
5〜6世紀・ギルギットの律蔵写本
チベットやモンゴルの僧院では、今もこの部派の律に従って授戒する。
… 律は近縁。系譜は諸説。

分別説部
3世紀・碑銘に名称が現れる
古代文献では、この名が複数の集団や教理上の立場を指す。
… 一部の文献は、上座部系の諸集団を分別説部と呼ぶ。

法蔵部
1世紀・ガンダーラで確認
法蔵部の『四分律』は、今も東アジアの授戒の基礎である。
… 複数の部派系譜が、化地部から分かれたと伝える。

中国の律宗諸派
410〜412年・『四分律』漢訳
律師は戒律を学び、『四分律』に基づく授戒を伝えた。
-- 漢訳『四分律』が中国の授戒の規範となった。

大衆部
紀元前300年頃・伝承上の分裂
大衆部には南インドで栄えた諸部派も含まれる。
… 初期教団が大衆部と上座部に分裂。

説出世部
紀元後初期の数世紀・活動を確認
『マハーヴァストゥ』は、この部派に伝わる釈尊の前生や生涯を記す。
… 部派系譜では大衆部の系統とされる。

バーミヤーンの仏教諸集団
1世紀・仏教活動を確認
玄奘は説出世部の僧を記し、出土写本はさらに多様な伝統を示す。
… 玄奘はバーミヤーンに説出世部の僧がいたと記した。

インドの仏教復興運動
19世紀末・近代の復興運動
タミル、ベンガル、アンベードカル派の運動は、それぞれ異なる社会背景から生まれた。
… 近代インドの諸集団が、宗教と社会の改革に取り組んだ。

大菩提会
1891年5月31日・設立
ダルマパーラらは1891年、ブッダガヤの聖地を仏教徒の手に戻すため結成した。
… ダルマパーラがブッダガヤの聖地回復運動を組織した。

ナヴァヤーナ（新乗仏教）
1956年10月14日・ナーグプルで改宗
1956年のアンベードカルの改宗は、仏教復興と反カースト運動を結びつけた。
… 1956年、アンベードカルがナーグプルで改宗。

トリラトナ仏教教団
1967年4月6日・ロンドンで発足
サンガラクシタが、複数の仏教伝統を学ぶ教団を英国に設立した。
… 1967年、宗派を超えた運動がロンドンで発足。

B スリランカと上座仏教圏

上座仏教
紀元前3世紀・伝承上のスリランカ伝来
パーリ聖典と共通の授戒規範が複数の僧団を結びつける。
… A・上座部 スリランカを経て伝わる上座部の伝統。

スリランカの諸僧団
紀元前3世紀・初期の僧院集落
古代の僧院を核に諸僧団が育ち、後世には海外での受戒から新たな僧団が生まれた。
… アヌラーダプラでは複数の僧団が並び立った。

大寺派
紀元前3世紀・年代記に創建を伝える
アヌラーダプラの大寺は、後世の僧団改革の模範となった。
… 古代アヌラーダプラの一僧団は大寺を拠点とした。

無畏山寺派
紀元前1世紀・無畏山寺創建
アヌラーダプラのこの寺は、インドの大乗仏教徒とも交流した。
… 中世の僧団改革まで、独自の僧団を保った。

シャム派
1753年・キャンディで成立
1753年、シャム僧の助力によりキャンディで具足戒が復興した。
— シャムからの授戒でスリランカの僧団が再興された。
1 1753年、キャンディでの授戒

アマラプラ派
1803年・スリランカで成立
ビルマで具足戒を受けたスリランカ出身者が、帰国後に新たな僧団を結成した。
— ビルマで受戒したスリランカ僧が帰国し、僧団を組織した。

ラーマンニャ派
1864年・僧団成立
ビルマに由来するこの授戒系統には、スリランカの森林僧院も属する。
— ビルマに由来する別系統の授戒がスリランカに定着した。

スリランカの比丘尼僧団復興
1996年12月・サールナートで授戒
国を超えた授戒によって、スリランカの女性が再び具足戒を受けられるようになった。
-- 1990年代に複数の授戒式が行われ、比丘尼の具足戒が復興した。
4 1998年、ブッダガヤでの授戒

ビルマの上座仏教
5〜6世紀頃・ピューのパーリ語資料
諸僧派と、出家・在家の指導者が教える瞑想の系統が併存する。
… ビルマの僧院はパーリ学と上座仏教の授戒を伝えた。

シュエジン派
19世紀半ば・改革派の成立
ミンドン王の治世に、改革派が戒律の厳守を説いた。
… シュエジン派の改革は持戒を重んじた。

マハーシの系統
1949年・ヤンゴンに瞑想所開設
マハーシ長老は、刻々と生じる経験に気づき、言葉で確認する瞑想を教えた。
-- ヤンゴンのサーサナ・イェイターがこの瞑想法の拠点となった。

ウ・バ・キンの系統
1950年・瞑想指導団体設立
在家のウ・バ・キンは、ヤンゴンの瞑想所でヴィパッサナーを教えた。
-- ヤンゴンの在家指導者の観法が海外へ伝わった。

ゴエンカ式ヴィパッサナー
1969年7月3日・インド初の講習
S・N・ゴエンカはウ・バ・キンの観法を世界に広めた。
-- ゴエンカはビルマの在家指導者ウ・バ・キンに師事した。

トゥダンマ派
1782年・王による改革開始
ミャンマー最大の僧派で、従来のトゥダンマの僧階を受け継ぐ。
— シュエジン派の独立後も旧来の僧階を維持した。

タイの上座仏教
13世紀・スコータイ王朝の庇護
全国的な僧派と森林の修行指導者が、それぞれ僧院生活を支える。
… タイの主な僧派は上座仏教の律に従う。
1

タンマユット派
1833年頃・モンクットの改革
モンクット王子が戒律の厳守を重んじる改革派を結成した。
— モンクットはモン族の授戒と儀礼に学んだ。

タイ森林派
1900年頃・近代の森林修行復興
アチャン・サオとアチャン・マンが森林僧院での頭陀行と瞑想を再興した。
-- アチャン・サオとアチャン・マンが森林修行者を育てた。

アチャン・チャーの系統
1954年・ノーンパーポン寺創建
アチャン・スメードーはタイ森林派の英国での布教に尽力した。
-- アチャン・チャーの弟子たちがタイ国外にも僧院を開いた。

タイのマハーニカーイ派
19世紀・総称として定着
タンマユット派に属さないタイの多数派寺院をまとめた呼称。
— タンマユット派以外の多数派寺院に対する呼称。

ワット・プラ・タンマカーイ
1970年2月20日・修行所発足
パトゥムターニーの寺院で、タンマカーイ瞑想を中心に多くの在家信者が集まった。
— 所属はマハーニカーイ派、瞑想法はワット・パークナムから継承。

カンボジアのモハーニカーイ派
1880年・王室の僧階制度で公認
植民地期、カンボジアのこの多数派では教授法や典籍の権威が論じられた。
… モハーニカーイ派は同国最大の上座仏教僧団となった。

ラオスの上座仏教
14世紀・ファーグム王の伝承
1975年以後、従来の二つの僧派が全国組織に統合された。
… マハーニカーイ派とタンマユット派が併存した。

メコンデルタのクメール上座仏教
1533年頃・ソクチャンのクレアン寺
ソクチャンとアンザンのクメール寺院がデルタの地域社会を支える。
… クメール語圏の人々がデルタの上座仏教寺院を支えた。

インサイト・メディテーション・ソサエティ
1975年・設立
米国マサチューセッツ州の瞑想所が、宿泊型の集中瞑想を広く一般に開いた。
… 米国の瞑想所の創設者たちはアジアの観法指導者に学んだ。

C 密教の諸伝承

金剛乗
7世紀・インドで成立
師から灌頂を受け、タントラの典籍・儀礼・瞑想法を受け継ぐ。
… D・大乗仏教 大乗の儀礼と教理を背景に密教の修行が発展した。

唐代密教の諸系統
716〜720年・密教僧が相次ぎ来唐
経典の翻訳と灌頂を通じ、唐の宮廷に密教儀礼の系譜が生まれた。
— 密教の典籍と灌頂が唐に伝わった。
3 唐の皇室による庇護

真言宗
806年・空海が唐から帰国
空海は長安で恵果に学び、密教の修法を日本に伝えた。
— 長安で恵果が空海に灌頂を授けた。

ネワールの金剛乗
900年頃までにカトマンズ盆地が密教の中心地に
カトマンズ盆地の在家者は、サンスクリットの伝統と世襲制の僧院組織を保つ。
… ネワールの在家僧団はサンスクリットによる密教儀礼を伝えた。

ニンマ派
8世紀・伝承上の伝来
古代の教えと、後世に発見された「埋蔵経」が複数の僧院系譜を支える。
… 古訳の諸系統がニンマ派と総称されるようになった。

カダム派
1057年頃・レティン寺創建
ドトンはアティーシャの教えを継ぐためレティン寺を開いた。
… ドトンがチベットにアティーシャの教えの拠点を築いた。

ゲルク派
1409年・ガンデン寺創建
ツォンカパがカダム派の教えを刷新した。座主はガンデン・ティパが務める。
-- ツォンカパはカダム派の教えをガンデンの伝統に取り入れた。

大乗仏教伝承財団（FPMT）
1975年・財団設立
ラマ・イエシェとラマ・ゾパが、仏教を学ぶ拠点を世界各地に結んだ。
-- 両師がゲルク派の教えを伝えるセンターを設立した。

サキャ派
1073年・サキャ寺創建
コン・コンチョク・ギェルポが1073年に開創。ラムデ（道果説）が中核となった。
… 1073年、コン氏がサキャ派の拠点を開いた。
2

チョナン派
1294年・チョナン寺創建
ドルポパが「他空」を説いた。時輪の瞑想は今も修行の中心にある。
… チョナン寺の名が派名になった。

チベット仏教
7世紀・王室が仏教を庇護
僧院では経典の学習、密教の灌頂、律に則った授戒が行われる。
… 訳経を重ね、顕密の教えがチベットに伝来。

シャンパ・カギュ派
11世紀・キュンポ・ネルジョルの系譜
キュンポ・ネルジョルはニグマとスカシッディの二人から教えを受けた。
… ニグマに由来する独自の伝承。

カギュ派の諸系統
11世紀・チベットに定着
マルパの系統とシャンパの系統では、それぞれ異なるインドの師にさかのぼる。
… 異なる師資相承の系譜がカギュ派の名で呼ばれるようになった。

ダクポ・カギュ派
1121年・ガムポパの僧院創建
ガムポパはミラレパの瞑想法と、それ以前に学んだカダム派の修行を結びつけた。
-- ガムポパがミラレパに直接師事した。

カルマ・カギュ派
1139年・伝承上の成立年
ガムポパの弟子ドゥスム・キェンパは後に初代カルマパとされた。
— ドゥスム・キェンパに始まるカルマパの系譜。

ディクン・カギュ派
1179年・ディクンティル寺創建
チェツァンとチュンツァンの二つの転生系譜が指導を担う。
-- パクモドゥパにつながる後代の分派。

ドゥクパ・カギュ派
1206年・ナムドゥクが派名に
ツァンパ・ギャレーの系譜はチベット、ラダック、ブータンに広がった。
-- リンレーパがパクモドゥパの教えをツァンパ・ギャレーに伝えた。

モンゴル仏教
13世紀と16世紀後半・二度の伝来
モンゴルの人々はチベットの師を支援し、独自の僧院と儀礼を育てた。
… モンゴルの施主はチベットの複数の宗派を庇護した。
2 モンゴル王侯によるサキャ派の師の庇護

D インドと東アジアの大乗仏教

大乗仏教
紀元前1世紀頃・大乗仏教が興る
菩薩の教えは、異なる部派に属するインドの僧院の間に広まった。
… A・仏教 菩薩道は複数の僧団の枠を超えて広まった。
続き C G

中観派
200年頃・龍樹の主要著作
龍樹の空の論証を受けて、インド、チベット、中国で多くの注釈書が生まれた。
… 龍樹は縁起に基づいて空を論じた。

三論宗
5世紀初頭・三論を漢訳
吉蔵は、漢訳された三つの論書を通してインドの中観思想を説いた。
-- インドの三論書の漢訳が三論学の基礎となった。

瑜伽行派
4〜5世紀・教学を体系化
インドで無著と世親が、認識と経験の成り立ちを論じた。
… 瑜伽行派は、認識が経験を形づくる仕組みを考察した。

中国法相宗
659年・玄奘訳『成唯識論』完成
玄奘と基が中国で唯識教学を発展させた。
-- 玄奘と基が長安で唯識を講じた。

中国仏教
65年・中国で仏教信仰の記録
一つの寺院で複数の教学、授戒系譜、信仰実践を共有することも多い。
… 後漢の洛陽で経典が漢訳された。
続き E F 3

中国天台宗
575年・智顗が天台山に入る
智顗は『法華経』の解釈と禅観を一つの体系にまとめた。
… 智顗は『法華経』を軸に教理と実践を統合した。

高麗天台宗
1097年・義天が国清寺で開講
高麗で義天が天台教学を軸に一宗を組織した。
-- 義天は天台教学を高麗の僧院に取り入れた。

大韓仏教天台宗
1967年1月24日・現教団発足
上月は1945年に救仁寺を建立した。1967年には天台宗の教化組織が発足した。
-- 1966年、上月が天台宗の再興を宣言した。

日本天台宗
806年・朝廷が天台宗の年分度者を勅許
最澄は比叡山で天台教学、戒、禅定、密教を結びつけた。
-- 最澄が天台山で学んだ。

中国華厳宗
7世紀・中国で成立
法蔵は『華厳経』に基づき、諸法が相互に融通することを説いた。
… 注釈家たちが『華厳経』を軸に教学を築いた。

朝鮮半島の華厳宗
676年・義湘が浮石寺を創建
義湘が華厳の教えを伝え、浮石寺はその重要な拠点となった。
-- 義湘が智儼に師事した。

人間仏教
20世紀初頭・改革運動の興隆
太虚は現実社会での仏教実践を重んじた。後の指導者たちはそれを多様に解釈した。
… 太虚は人々の日常の課題に向き合うよう仏教徒に説いた。

仏光山
1967年・開山
星雲が1967年、台湾の高雄に人間仏教の教団を開いた。
… 星雲が人間仏教の新たな拠点を築いた。
4

慈済
1966年・花蓮で慈善団体設立
証厳が1966年、台湾の花蓮に慈善団体を設立した。
… 証厳は慈善事業を通じて仏教の教えを実践した。

ベトナムの大乗仏教
3世紀までに贏婁で大乗仏教が広まる
ベトナムの寺院では、信仰実践、密教、禅がしばしば併存する。
… ベトナム北部でインドと中国の教えが出会った。

ベトナムの禅
580年頃・毘尼多流支の伝承上の渡来
現地の伝灯史はベトナム独自の禅の法系を伝える。
… 禅は信仰実践や密教と並んで発展した。

安子山竹林派
1299年・陳仁宗が竹林派を開く
中世の竹林派は陳仁宗、法螺、玄光の三祖によって形づくられた。
-- 陳仁宗が安子山でベトナム独自の法系を育てた。

宝山奇香
1849年末・運動の成立
ドアン・ミン・フエンが1849年に始めた運動は、報恩を説き、農耕共同体を開いた。
… 南部ベトナムの改革者は信仰実践と農耕共同体を結びつけた。

ホアハオ教
1939年7月4日・開教式
フイン・フー・ソーが1939年にメコンデルタで開いた。
-- メコンデルタで先行した宗教改革の教えを受け継いだ。

E 浄土教の諸伝統

中国の浄土教
402年・慧遠らが廬山で浄土往生を誓う
阿弥陀仏への信仰は寺院や宗派の枠を越えて広まった。
… D・中国仏教 称名念仏は寺院や在家の結社に広まった。

茅子元の白蓮宗
1130年代初頭・茅子元の結社が活動
茅子元は淀山で、僧俗がともに阿弥陀仏を念じる結社を組織した。
— 茅子元が淀山に浄土信仰の結社を組織した。

法然の念仏門流
1175年・法然が専修念仏を立てる
法然はもっぱら阿弥陀仏の名を称える専修念仏を説いた。
-- 法然は善導の称名念仏の解釈に学んだ。

浄土真宗
1224年頃・親鸞が『教行信証』を起草
親鸞は法然に学んだのち、独自の浄土の教えを展開した。
— 親鸞は法然のもとで念仏の教えを学んだ。

浄土真宗本願寺派
1602年・本願寺の東西分立
京都の本願寺（西本願寺）を本山とする浄土真宗の宗派。
— 西本願寺が本願寺派の本山となった。

真宗大谷派
1602年・東本願寺の成立
京都の真宗本廟（東本願寺）を本山とする真宗の宗派。
— 東本願寺が大谷派の本山となった。

米国仏教団（BCA）
1899年9月1日・開教使が米国に到着
1899年に始まった開教が、米国本土の寺院と京都の本願寺を結んだ。
-- 1899年、京都の本願寺が米国に開教使を派遣した。

浄土宗
1175年・法然が開宗
弁長の鎮西流が、法然の教えを継ぐ中心的な教団となった。
— 弁長の鎮西流が継承。

F 中国・朝鮮半島・日本・ベトナムの禅

中国禅宗
6世紀・中国で禅宗が興る
伝灯史は菩提達磨、慧可、東山法門の諸師を経て教えが伝わったと記す。
… D・中国仏教 伝灯史は歴代の禅師を祖師相承の系譜に結んだ。

中国臨済宗
851年・義玄が臨済院に住す
臨済義玄の法系から、後に楊岐派と黄龍派が生まれた。
-- 義玄の弟子たちが独自の禅の法系を継承した。

ベトナム臨済宗
1633年頃・拙拙が北部で布教
中国の臨済宗の禅師たちは大越南部での法系形成を支えた。
-- 臨済の禅師が大越南部で現地の法系を開いた。

プラムヴィレッジ
1982年・フランスで開設
ティク・ナット・ハンは、ベトナム禅を受け継ぐ修行共同体をフランスに開いた。
-- 臨済宗了観系の戒脈を継ぐ。

日本臨済宗
1191年・栄西が臨済禅を伝える
栄西らが日本に臨済禅を伝え、後に本山ごとの諸派が成立した。
-- 中国で学んだ日本僧が帰国して臨済禅を伝えた。

中国曹洞宗
9世紀・洞山と曹山の教化
洞山良价と曹山本寂にゆかりのある禅の法系。
-- 洞山と曹山の二師にちなむ宗名。

日本曹洞宗
1227年・道元が南宋から帰国
道元と瑩山の宗門では、只管打坐そのものに悟りが現れると説く。
-- 道元が如浄の法を継ぎ、1227年に帰国した。

朝鮮半島の禅
821年・道義が唐から新羅に帰国
山門の諸寺が、中国から伝わった禅法を育てた。
-- 朝鮮半島の僧が中国で学んだ禅を山門の寺院に伝えた。

高麗曹溪宗
1172年・碑文に曹溪の名
高麗の禅宗史料は、この伝統を知訥や各地の山門と結びつける。
— 高麗時代の史料は、曹溪の源流を先行する山門の伝統に求める。

大韓仏教曹溪宗
1962年・統合宗団発足
1962年に現在の教団が成立し、僧侶は独身戒を守る。
… 現代の曹溪宗は、知訥ら歴代の禅師を祖師として仰ぐ。

韓国仏教太古宗
1970年・教団分立
僧侶の結婚を認める側が、1970年に独立した教団を結成した。
— 僧侶の結婚をめぐる論争を経て1970年に分立。

法鼓山
1989年・創設
聖厳が東初の事業を受け継ぎ、1989年に創設した。
-- 聖厳は台湾に禅の教えを伝える新たな拠点を築いた。

G 朝鮮半島と日本の諸宗派

朝鮮半島の仏教
372年・高句麗で仏教を公伝
半島各地の宗派や寺院で、経典の学問と禅の修行が栄えた。
… D・大乗仏教 大乗経典は朝鮮半島の諸国に流布した。

円仏教
1916年・少太山が開教
少太山は新たな経典を用い、一円相を象徴として在家者を教化した。
… 少太山が在家の修行者に開かれた教団を設立した。

日本仏教
538年または552年・仏教公伝の伝承
朝鮮半島と中国から伝わった仏教は、日本の諸宗派や寺院制度の成立を支えた。
-- 初期には百済王室から伝わった経路がある。

日蓮系諸宗
1253年・日蓮が立教開宗
日蓮の法華信仰から、寺院の諸門流や在家の運動が生まれた。
… 日蓮は『法華経』を教えの中心に据えた。

日蓮正宗
1290年・大石寺創建
富士門流を受け継ぎ、大石寺を総本山とする。
— 富士門流は大石寺を中心道場とした。

日蓮宗
1253年4月28日・日蓮が立教開宗
日蓮宗では身延山を信仰の中心とする。
— 身延山が日蓮宗の主要な拠点となった。

創価学会
1930年・教育者の団体が発足
牧口常三郎が始めた教育者の団体は、日蓮系の在家仏教運動に発展した。
-- 1991年、日蓮正宗と分離。

霊友会
1930年7月13日・発会式
久保角太郎と小谷喜美が、法華信仰と先祖供養を結びつけた。
… 在家信者が『法華経』への信仰と先祖供養をともに実践した。

ブラジル創価学会
1960年10月19日・創立記念日
研究には、この運動に加わったブラジルの黒人信者自身の経験が記録されている。
-- ブラジルの会員が現地の創価学会組織を育てた。

立正佼成会
1938年3月5日・創立
在家信者が小集団で『法華経』を学び、教団は諸宗教との交流を進めた。
— 1938年、在家教団発足。

系譜図の読み方

枝の続きは、同じ英字のパネルでご覧ください。同じ番号の菱形は別の歴史的なつながりを示します。項目を選ぶと出典が開きます。

——— 教団の分派　------ 教えの伝承　…… 歴史的・地域的背景　–·–·– 過去または現在の所属関係　→ その他の歴史的なつながり

日付は創立、最古の記録、復興など、各項目で取り上げた出来事の時期を示します。日付を選ぶと出典が開きます。

本プロジェクトの企画・開発・維持管理は純墨居士が行っています。
各項目への修正のご提案、異なる解釈、裏付けとなる資料をお寄せください。連絡先：**quantang108@outlook.com**

A1・594 × 841 mm